



基本理念「心のかよう医療を行い、信頼される病院」

かわせみ

R7 年度
夏号
VOL.65

◆放射線科のご紹介



ご挨拶

後藤 功（ごとう いさお）

副院長 兼 内科主任部長 兼 薬剤部長

地域温暖化のため、今年もさらに暑い夏がやってきます。関西万博等でお忙しい方も多いと思いますが、熱中症や感染症など、体調を崩しやすい季節でもあります。医療関係者の皆様方におかれましても、こまめな水分補給や適度な休息を心がけてください。

市民の皆様が健康で、病院にかかることのない日常であれば良いのですが、現実にはその通りとはなりません。そこで病気の予防ですが、予防接種や健診が大事になります。

お子様の予防接種の接種率は高いのですが、高齢者の定期接種のワクチンの接種率は高いとは言えません。带状疱疹ワクチン、肺炎球菌ワクチンなどが受けられます。秋からのインフルエンザ、新型コロナワクチンの前にご検討ください。

一般成人の方も、生活習慣病、がんの危険性があります。血圧、血糖、脂質などの異常は早くから注意することで合併症を防げますし、がんも早期発見すれば治る可能性が高まります。

予防、健康づくりに関係する地域の医療機関の皆様方と協力し、すべての人々の健やかな生活の実現に努めてまいります。

放射線科(診断部門)のご紹介



笑顔をやさず、皆さんに「愛される放射線科」を目指します。



赤木 弘之
(あかぎ ひろゆき)
放射線科
主任部長

画像診断で地域医療を支えます。

ご挨拶

放射線科では、医師・診療放射線技師・看護師・事務員がチームワークを大切にしながら、日々の業務に取り組んでいます。丁寧な説明や対応、検査後の速やかな読影報告を心がけ、地域の先生方や患者さんに信頼いただける質の高い画像診断を提供できるよう努めています。

放射線診断医の役割

各科に精通しており、CT・MRI・核医学検査など様々なモダリティの読影レポートを作成し、臨床診療を強力にサポートしています。

診療放射線技師の役割

日々装置の精度管理を行うことで、読影精度の向上、被ばくの低減に努め、目的や情報をもとに診断に適した画像を提供しています。

POINT 01

高度医療に対応できる医用画像診断装置を導入。

▶ 2023年12月、骨密度測定装置の更新

原発性骨粗しょう症ガイドラインにて推奨されているDXA法による腰椎+大腿骨の骨密度の測定を行い、骨粗しょう症の予防や診断および治療に取り組んでいます。また、最近注目されているサルコペニアの診断に使用される骨格筋量指数(SMI)の算出もできるようになりました。



▶ 2024年11月、最新式320列CT装置の導入

Deep Learning技術により高精細かつ低ノイズの画像の提供、さらには従来からの課題でもあった心拍動の影響を低減した肺野画像の出力も可能となりました。また、新装置では、Dual Energy技術の搭載により、新鮮骨折の評価や肝腫瘍の検出能の向上など、さまざまな臨床に役立つことが期待できます。



POINT 02

さまざまな検査に対応。MRI×連携で安心診療を。

MRIは、PHILIPS社製 3.0Tと1.5Tの2台体制で運用しており、検査内容や目的に応じて最適な装置を選定し、高精度な画像を提供しています。

▶ 3.0 T 装置 の 特徴

高分解能・高SNRの画像を活かした精細な撮像が可能で、乳腺領域、脳神経領域（脳腫瘍、MRAを含む血管評価など）や整形外科領域（脊椎疾患、関節軟部組織など）において特に威力を発揮します。

▶ 1.5 T 装置 の 特徴

腹部・骨盤領域、心臓MRI、DWIBS（拡散強調全身MRI）、非造影の動脈系撮影など。

金属アーチファクトの抑制の面でも優れており幅広く対応が可能です。

当院のMRI装置は、最新の圧縮センシング技術（Compressed SENSE）を搭載しており、非常に短時間で高画質の画像を撮像することができるようになりました。

多彩な撮像シーケンスに対応しており、臨床ニーズに応じた各種撮像プロトコルの調整にも随時対応しています。



POINT 03

核医学検査を取り入れた認知症画像診断により治療・介護方針の決定を。

近年の高齢化社会では、65歳以上の高齢者の3人に1人が認知症かその予備群というデータがあります。最適な治療やケアには、認知症の鑑別診断が必要であり、そのためには、神経心理学検査・症候学・画像診断の三位一体での診断が不可欠となります。画像診断では、MRI・VSRAD・脳血流SPECT・DAT・MIBGなどの検査があり、当院では以上のすべての検査において実施することが可能です。

画像診断では、CTやMRIのほかに核医学検査を取り入れることで、正診率が向上します。当院は、核医学検査データと核医学認定医師による読影レポートを同時に送付いたしますので、核医学の画像になじみのない先生方でも安心して検査をご依頼していただけます。

当科は、地域医療機関の先生方からの画像診断に関するご依頼に、適時対応できる体制づくりに取り組んでいます。CT・MRI・核医学検査・骨密度検査など さまざまな検査に対応していますので、ご遠慮なく当科へご相談ください。

POINT 04

地域の皆さんに寄り添う活動。

地域の皆さんが安心して検査を受けていただける環境づくりに取り組んでいます。

- 👉 乳房撮影（マンモグラフィ）では、**女性技師が担当**し患者さんが安心して検査に臨めるように配慮しています。
- 👉 「看護の日」「ひらかた健康セミナー」での市民の皆さん対象の**骨密度検査**や、平日お忙しい方向けに**日曜日の乳がん検診**（サンデーマンモ）を年2回行っています。
- 👉 放射線科をより身近に感じていただける広報誌「**放射線科だより**」（年4回）を発行しています。



退職医師のお知らせ（中央検査科）

5月12日をもって退職いたしました。ありがとうございました。時津 浩輔

登録医療機関のご案内

当院と連携している
先生をご紹介します

先生
教えてください！

大津耳鼻咽喉科・ボイスクリニック

開業の経緯

2021年10月から2年半市立ひらかた病院で勤務しておりました。
2024年4月に高槻市西町に「大津耳鼻咽喉科・ボイスクリニック」として
リニューアルしました。

一般耳鼻咽喉科診療に加え、寝屋川 小松病院や市立ひらかた病院で取
り組んできた耳鼻咽喉科・音声外科の経験を活かし、より裾野の広い治療
を行いたいと想い、開業に至りました。

患者さんへのアピールポイント

一般耳鼻咽喉科診療に加え、会話の二大要素である話す、聴くに注力して診
療に当たっております。言語聴覚士2名が常勤し、発声障害や嚥下障害のある
方にリハビリテーションも行い、必要のある方には非常勤医師である市立
ひらかた病院で手術対応致します。また自院に補聴器販売店に来ていただい
て補聴器適合も行い、納得していただけるまで試聴・購入していただける場を
提供しています。

声でお困りの方、補聴器で迷われている方は是非お気軽にご相談ください。

趣味

旅行、野球、サイクリング



大津 和弥 先生



住 所 高槻市西町65-2 1階

電話番号 072-693-4888

診療科 耳鼻咽喉科



医療機関ホームページはこちら

本多 歯 科

開業の経緯

2016年、父の代から続く本多歯科を継承し、建物を新築しました。チェア
を5台から8台へ増設し、一般歯科はもちろん、インプラント、矯正、咬合・顎
関節治療まで幅広い専門治療に対応できる体制を構築しています。

地域医療への貢献に加え、誰もが安心して長く働ける社会貢献の場とし
ての医院づくりを目指し、新たなスタートを切りました。

患者さんへのアピールポイント

本多歯科の大きな強みは、患者さんと働くスタッフ双方への配慮です。資
格のない職種のスタッフへのキャリア支援や、子育て中のママスタッフの
積極的な雇用促進に注力しています。

2025年5月には「ママ&キッズエリア」を新設し、さらに4台のチェアを
増設。保育士の配置や遊び場、授乳スペースなど院内設備も充実させること
で、お子さん連れでも安心して通える、そして安心して働ける環境を実現し
ています。

趣味

現在、4歳と0歳の娘の子育てに奮闘中です。家庭と仕事の両立に悩みなが
らも、地域の皆さんに信頼され、スタッフがいきいきと働ける医院を目指し
て、日々診療と運営に取り組んでいます。



本多 弘明 先生



住 所 枚方市宮之阪2-1-5

電話番号 072-847-8241

診療科 歯科・矯正歯科・
小児歯科・歯科口腔外科



医療機関ホームページはこちら